

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	小笠原諸島の調査に要する経費		担当部局庁	国土政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	S55		担当課室	特別地域振興官		特別地域振興官 岡野 克弥		
会計区分	一般会計		施策名	39 離島等の振興を図る				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	小笠原諸島振興開発基本方針 小笠原諸島振興開発計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東京都又は小笠原村が、観光・産業振興のための施策を自らの創意工夫により立案するに当たり、その実現性・実効性を含め他地域の地域振興の成果と課題をより専門的見地から収集、分析を行い、東京都・小笠原村がより効率的・効果的に具体的施策を立案できるよう、支援を行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	小笠原諸島振興開発の基本となる方向性を検討するための調査を国が実施。 (H23年度) ①小笠原における害虫対策調査 ②小笠原における情報通信基盤の遠隔医療等における利活用に関する調査							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	35	29	21	15	15	
		補正予算	0	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
		計	35	29	21	15	15	
		執行額	33	28	21			
	執行率(%)	94%	97%	98%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (H25年度)
	小笠原村の総人口		成果実績		2,417	2,397	2,529	2,500
			達成度	%	97%	96%	101%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査件数		活動実績 (当初見込 み)		3	3	2	-
					(3)	(2)	(1)	
単位当たり コスト	10,305千円(23年度実績額/23年度件数)		算出根拠					
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0					
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	1	1					
	離島振興調査費	14	13					
計	15	15						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、新たな振興開発の取組の可能性を探ったり、国等の関係団体との調整を経て小笠原での適用を目指すものであり、東京都・小笠原村がより効率的・効果的に具体的施策を立案できるよう、支援を行うものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、企画競争の手続きを経た上で、発注先を特定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	調査過程より、国土交通省と、関係団体との間で問題意識を共有するとともに、連携・協力して進めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本経費は、国において調査検討するにあたって必要となる経費である。 ・発注先の選定にあたっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、企画競争の手続きを経た上で、発注先を特定し、請負契約を締結したところ。 ・業務の実施にあたっては、仕様書に「緊密な連携をとって進めるものとする」と記載あるとおり、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策とりまじめに向け調査内容に過不足はないかなどを確認している。 ・調査終了後、完了検査を通じて、発注先より提出のある成果物（報告書）の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなど確認を行っている。 ・調査過程より、国土交通省と、関係団体との間で問題意識を共有するとともに、連携・協力して進めており、調査結果を受けて、調査後小笠原村等が自立的に事業を推進し実行段階にすすむようにしている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	調査を国が直接行う必要性を十分検討しつつ、政策目的に照らして真に必要なもの、緊急性の高いものへの重点化を図る。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	「小笠原諸島振興開発特別措置法」は平成26年3月に期限を迎えるため、新たな「小笠原諸島振興開発基本方針」の策定に向けた調査に重点化し、事業費の縮減を図った。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	182	平成23年行政事業レビュー	98

※平成23年度実績を記入

国土交通省
21百万

業務の実施にあたり、各支出
先の指示・監督

A 国土政策局
21百万

企画競争

B (株) 吉野白蟻研究所
11百万円

小笠原諸島におけるシロアリ
対策について、スムーズに対
策活動をするために各担当機
関が足並みを揃える必要があ
ることから、対策活動等につ
いての認識を共有する場をつ
くり、薬剤の選定等について
の調査・検討

企画競争

C (株) エヌ・ティ・ティ・デー
タ経営研究所
10百万円

小笠原村診療所と都立広尾
病院とで遠隔医療の実証実
験を実施し、関係者を交え
た実施体制・費用負担等、
課題について検討

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.国土政策局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	小笠原諸島における害虫対策調査等	21			
計		21	計		0
B.(株)吉野白蟻研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	小笠原諸島における害虫対策調査	11			
計		11	計		0
C.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	小笠原における情報通信基盤の遠隔医療等における利活用に関する調査	10			
計		10	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)吉野白蟻研究所	小笠原諸島における害虫対策調査	11	1	—
2	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	小笠原における情報通信基盤の遠隔医療等における利活用に関する調査	10	1	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					